

地域再生計画事後評価（事務事業評価委員会意見）

全体としては、一定の成果は得られている。

その上で、市道については、市民生活の利便性の向上などに一定の効果があったが、路線全体の改良・舗装の完了には至っていないことから、集落間のネットワーク化などに課題が残っている。

同様に、林道についても、迂回路の確保など、生活道としての利便性の向上が図られているが、目標としていた森林整備面積の達成には至っていない。

また、公共下水道に関しては、穴吹処理区の整備が完了し、合併浄化槽の整備促進とあわせて処理人口の増加が図られている。

今後は、本計画での成果と課題を整理・分析し、次期の計画等に反映していくべきである。